

話題

街にひろう

牛久から地球へエール！ うしくみらいエコフェスタ



楽しいイベントに子どもたちも満足

8月23日、牛久運動公園体育館で「うしくみらいエコフェスタ、09」が開催されました。会場は早くから各ブースとも来場者でいっぱい。メインステージで上映された環境映像では「何でも手に入れることができない今」について問題を問



飲用ペットボトルなどのキャップを回収

掛け、「貧しい国の命が失われる。キャップがワクチンとなる。人の命を救える」というメッセージが伝えられました。この日、会場内に設けられたエコキャップ回収所には、みんなの思いを託した、たくさんさんのキャップが集まりました。また、ごみについてのアンケートに答えていた女性は「毎日の生活で心掛けているのはごみの分別です。大切なことですから」と、普段からエコ生活を実践している様子でした。来場者にMYはし持参を呼び掛けたり、会場内の飲食には再利用できる食器を使用したりするなど、環境に優しい生活を意識した試みが、地球環境を考えるきっかけになることでしょう。

焼却灰処理工場を見学

8月18日、市内の小学生と保護者約30人が、鹿嶋市の焼却灰処理工場を見学しました。

焼却灰処理工場では、クリーンセンターに持ち込まれたごみが焼却されて灰になり、焼却灰処理工場で溶融、再資源化される過程を学習しました。

灰を再資源化したもの（スラグ）を実際に持ち、重さを確かめ合った子どもたちからは、「結構重い！」などの驚いた声が聞かれました。スラグは、路盤材や護岸材としてリサイクルされます。子どもたちは、真剣なまなざしで社員の方の説明を聞いていました。



焼却灰処理工場で熱心に話を聞く参加者

保育園児の農業体験教室



「僕」の「わたし」のトウモロコシは最高の味

7月に牛久ひかり保育園の園児たちが植えたトウモロコシが、収穫の時を迎えました。「子どもたちに農業の記憶を残したい！」と願う若い農業者グループ「UFOクラブ」が大きな力となってくれました。

9月9日、この日を待ちわびたように、園児たちはトウモロコシへと一斉にダッシュ！背伸びしながら、「ポキッ」「ポキッ」と小気味よい音を響かせて、初めての収穫体験を楽しみました。自分でとったトウモロコシを大切に胸に抱えて、得意満面の園児たち。この日のおやつは、もちろん最高においしいゆでたトウモロコシでした。

文化にアートの発信地



焼きたての「石窯ピザ」をほお張る参加者

8月29日、女化青年研修所で「女化アートワールド」のプレオープンイベントが開催されました。

この「女化アートワールド」は、約70年前に建てられた旧女化分校の環境を最大限に生かし、牛久市の文化、芸術の一つの拠点、発信地として活動を開始していくことを目的としています。

女化青年研修所の木陰では、竹を上手に割って「あんどん・とわいらいと」や、まきを燃料に使って手作りの美しい石窯で焼いたピザの販売などを開催しました。この「女化アートワールド」は11月8日にグラウンドオープンします。

郵便局開設を要望

8月21日、市市民生活部長などが郵便局棟に、ひたち野うしく地区への郵便局開設を要望しました。

現在、ひたち野うしく駅周辺地区には郵便局がなく、地区周辺の行政区長・自治会長らが発起人となり、自主的に郵便局開設を要望する署名を各戸にお願ひし、現在まで3782名の賛同署名が集まりました。今回はこの署名に、市としての要望書も添えて要望しました。

市では現在、ひたち野うしく駅前の「ひたち野リフレ」ビル(左写真)を取得し、市役所の出張所や保育施設、会議室などを計画。地区のコミュニティセンターとして整備を進めています。この「ひたち野リフレ」整備に当たり、引き続き郵便局開局に向けて交渉を続けていくとともに、ATM(現金自動預払機)の設置の要望もしています。



全国宝くじ売上金による「コミュニティ活動の推進

下町行政区(石野雅昭区長)と向台行政区(川上守正区長)では、(財)自治総合センターからコミュニティ助成事業の助成金をそれぞれ250万円受けて、コミュニティ活動の推進を図るため、和太鼓を購入しました。

同センターは、全国宝くじの売上金の一部により地域のコミュニティ活動とその健全な発展を



下町行政区の夏祭りでも太鼓を活用

図るとともに、宝くじの普及広報のために助成事業を実施しています。この助成事業により、夏祭りなど地域のさまざまな行事に活躍してくれそうです。



向台行政区の夏祭りでも太鼓を披露

青年海外協力隊の支援

8月28日、(社)青年海外協力協会(JOCA)の全国キャラバン隊が、青年海外協力隊応募促進支援キャンペーンのため市役所を訪れました。地域の活性化や国際化にも役立つ青年海外協力隊に参加してもらい、一人でも多くの若者に活躍してもらえよう、池辺勝幸市長に支援を訴えました。(28ページに関連記事)



池辺市長に支援を訴えるキャラバン隊

ミュージカル「葉っぱのフレディ」のちの旅」牛久公演

8月23日、命の尊さと環境の大切さを訴え、全国各地で上演されているミュージカル「葉っぱのフレディ」のちの旅」牛久公演が、市中央生涯学習センター文化ホールで盛大に開催されました。

会場には、このミュージカルの総合プロデューサーの黒岩祐治さんや翻訳を担当したみらいなさんを迎えました。今回の牛久公演には、小学生から高校生までの地

元の子どもたち33人が厳しい練習を重ね、地元出演者としてミュージカルに参加しました。

公演当日、地元出演者は俳優で「ルーク」役の宝田明さんをはじめ、本部のキャストとともに、力いっぱい演技を披露し、黒岩さんなどからは牛久の「カッパーズ」と愛称まで頂きました。

公演終了時には、絶賛の拍手で会場は大きな感動に包まれました。

NPO法人移動サポートサンライズ送迎サービス活動開始

9月14日、NPO法人移動サポートサンライズ(久野町3156)の送迎サービスが始まりました。このサービスは、体の不自由な方や介護を必要とする方の通院や買い物など、お出掛けの際に自宅から行きたい所まで、事前予約で送迎するものです。利用するには、入会し利用券を購入してもらわなければならない。

代表者の本橋勇さんは、以前から電車もバスもタクシーもない交通空白地帯の東部地域の交通の便について、困っている人の声をた

くさん聞いたことや、地域においても送迎してほしいと言われたことがきっかけとなり、このサービスを立ち上げました。

9月15日、自宅から病院への送り迎えをお願いした、利用者第1号の橋本喜久代さん(久野町)は、「この送迎サービスができてとても助かっています。行きたいときに病院へ行くことができるのがいい。ぜひまた利用したい」と笑顔で話してくれました。

この送迎サービスはまだ始まったばかりですが、人だけでなく温

※利用方法・料金などの詳細は、NPO法人移動サポートサンライズ(☎875・0410)へお問い合わせください。



ステージ後方で演技をする地元出演者



利用者第1号の橋本さん(写真左)と本橋さん

かい心も一緒に運んでくれることで、今後利用者が増えることが見込まれそうです。

ボーイスカウト部門の 最高位「菊章」取得

8月28日、日本ボーイスカウト牛久第2団の清水夏穂さん(牛久第三中学校3年)が、ボーイスカウト部門(小学5年生9月、中学3年生8月)最高位の「菊章」取得の報告のため、池辺勝幸市長を表敬訪問しました。

清水さんは、小学4年生でボーイスカウトに入団し、今年1月には日韓スカウトフォーラムにも参加。清水さんは「菊章取得を目標に、ほかのスカウトの模範になるよう自分から率先して行動するよう心掛けました」と語りました。



菊章を取得した清水さん(写真右から2人目)

2度目の優勝！還暦野球

8月22日から24日の3日間、群馬県太田市運動公園野球場で行われた「第14回東日本還暦軟式野球大会」で、当市から出場した「うしくゴールデンボーイズ」(福田幸一監督)が優勝しました。

この大会は、60歳以上で組織する野球チームの各県代表32チームによるトーナメント戦で行われ、決勝戦では東京都代表の「青梅シニアイーグルス」に14対3の5回コールドで勝ち、平成19年度に引き続き、2度目の優勝を飾りました。個人では同チーム外野手の鈴木光男さんが最優秀選手賞と首位打者賞を獲得しています。

また、同チームは9月25日から29日まで大分県別府市で行われた「第25回全日本還暦軟式野球選手権大会」にも出場しました。



牛久FC7春季サッカー大会 (牛久サッカー協会)

学年	優勝	準優勝
2年生	向台小SSS	中根FC
3年生	中根FC・A	神谷SSS
4年生	中根FC・A	中根FC・B
5年生	岡田FC	神谷・朝日合同
6年生	岡田FC	中根FC

5月から7月まで、市内小学校のサッカーチームによる牛久FC7春季サッカー大会が奥野運動広場などで開催されました。



6年生の部優勝の岡田FC

このコーナーでは、市民の皆さんから寄せられたイラストや俳句、川柳などを紹介しています。なお、お便りには住所と氏名、電話番号を記入してください。また、匿名希望の方は、その旨記入してください。ペンネームもOKです。

あて先：〒300-1292牛久市中央3-15-1

「広報うしくちょっと休憩」係

Eメール shimin@city.ushiku.ibaraki.jp



南・犬塚さん

ちょっと
休憩
ぶれいく

皆さんのお便りから

☆夏休みも終わりに近い残暑厳しい夏の日。旧女化分校が月の光と共にライトアップされました。カウントダウンによって照らされた木枠の窓がくっきりと浮かび、学び舎の中の子どもたちの笑顔が見える思いでした。感動のワンシーンを覚えていたできました。歴史ある旧女化分校が生き返り新たな時代に携えて、これからも見守つていただきます。

女化町・K・Mさん

短歌・俳句・山柳コーナー

旅に出て息子の成長知る私

さくら台 二国さん

蝉時雨風の音響く古墳丘

田宮 岡村さん

帰り行く次男坊ツバメ今度いつ

刈谷町 小山さん

涼風に秋の七草数えけり

女化町 清水さん

お酉さんねぢりはち巻熊手もち

女化町 砂押さん

虫集く夜空は冴えて秋に入る

小坂町 飯塚さん

イラスト、俳句、川柳など、毎月たくさんのお便りありがとうございます。紙面の都合上、すべてを掲載できない場合がありますが、今後またたくさんのお便りをお待ちしています。